

## 【第5回策定検討委員会での意見等への対応】

資料 1

項目	意見	対応項目	対応内容
重点プロジェクト① 観光地「AZUMINO」ブランド向上プロジェクト	戦略1・2に対し、戦略3「フィルムコミッションによるブランディング」の粒感が小さい。	重点プロジェクト①	フィルムコミッション機能の充実は、市として力を入れていく施策。戦略として位置づける。
	関連施策「メディア・ロケ誘致・支援の推進」の指標について。ロケの支援件数も大事だが、ロケ地であることのPRも重要。	1-1-3(2) メディア・ロケ機会を捉えた効果的な情報発信	指標は、再検討。事業の参考とする。
重点プロジェクト② 安曇野でアウトドア満喫プロジェクト	「ウルトラマラソン」「トランスジャパンアルプスレース」など、山岳レースイベントを開催してはどうか。	重点プロジェクト②	プロジェクトの参考とする。
	スポーツだけでなく、文化・歴史体験、農業体験も含めて展開してはどうか。	重点プロジェクト②	スポーツ以外の体験も、アウトドアに含まれるものとして想定している。
	ターゲットとしている若い世代の発想も取り入れていくべき。	3-1-4(1) 観光教育やおもてなしの向上	「地元大学・高校生等との観光に関する意見交換などの実施」を強化していく。
	「ウェルネス・ツーリズム」も取り入れていくべき。	2-2-2(3) リゾートテレワークの推進	「企業向けウェルビーイングプログラムの作成検討」を新規に取り組んでいく。
	名称を「安曇野で満喫プロジェクト」「安曇野でアクティブを満喫」などとすべき。	重点プロジェクト②	アウトドアは、市として力を入れていくものであることから、アウトドアをテーマとしたプロジェクトとする。
重点プロジェクト③ のんびり安曇野の旅プロジェクト	各事業者が行っている取り組みを吸い上げ、一元化して情報発信すべき。	1-1-3(1) デジタル活用による利便性の向上	情報発信の一元化に取り組んでいく。
	関連施策「観光教育やおもてなしの向上」について。観光客へのあいさつを促進すべき。	3-1-4(1) 観光教育やおもてなしの向上	「おもてなし講習会等の促進」を強化していく。
	関連施策「観光教育やおもてなしの向上」の評価指標を見直すべき。	3-1-4(1) 観光教育やおもてなしの向上	再検討する。
KGI（重要目標達成指標） 及びKPI（重要業績評価指標）の検討	現在出ている数字に対しての目標は、もう少し上を目指すべき。	KPI（重要業績評価指標）	全体的に再検討を行い、戦略ごと2～5項目あったものを、1～2項目に減らし、現時点で基準値がわかるものに絞った。目標値は、第6回委員会までに再検討する。
	基準値の情報がない項目については、目標値を入れるべきではない。		
	あまり細かく項目を作るべきではない。		
推進体制及び進捗管理の検討	「推進体制」について。指揮命令系統がわかるイメージ図とすべき。	推進体制	「推進体制」は、DMOなどのマネジメント体制を示したのではなく、ビジョンを進めていく体制のイメージを示したものであるため、各主体に指揮命令権はない。
推進体制及び進捗管理の検討	「推進体制」について。体制づくりの手順等を具体的に設定すべき。	1-2-1(1) 観光地マネジメント組織の設立検討	「【DMO等観光地マネジメント組織の研究・設立方針の検討】を新規に取り組んでいく。